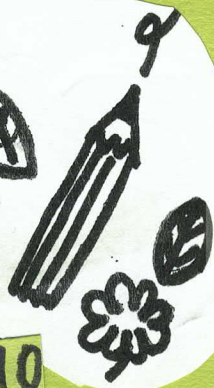




KIDS

センター

Cafe



防災

2025.6 NO.10

～子どもの命を守るために③～

離れれた場所にいる子どもを守るには

…もしも子どもと離れれた時に被災してしまったら…

① 普段から子どもと話し合いをする

- 集合場所や連絡手段を決めておく。集合場所に設定した場所は、安全な場所を選ぶようにする（防災マップで確認するとよい）
- 連絡先は紙に書いたものを携帯するとよい
- 困った時には「助けてください」と周りの大人に頼っても良いのだということを普段のコミュニケーションの中で伝えておく

② 防災ツールを使えるようにする

- 災害用伝言ダイヤル(171)、災害用伝言板(web171)の使い方も家族で確認できるとよい。これらはより多くの人々に利用方法を覚えてもらうため、体馬会のサービスを提供しています
- 防災マップの確認も家族でできるとよい
安全な場所だけでなく、危険な場所も共有できるとよい。

③ 保育・教育機関と連携

- 基本的には、保育園や幼稚園、学校にいるときが親見子が離れれた場所での被害になると思います。その場合は、落ち着いて迎えに行くのが基本になります。

子どもと離れれている時の災害は、大人も子どもも不安です。しかしそれぞれの場所で正しい行動をとることで、また再会できることになります。普段から意識できていれば、自分たちの身を守ることが出来ます。